

## 令和元年度 第1回 「宇都宮市子ども・子育て会議」 議事録

1. 日 時 令和元年5月30日（木） 午前10時00分～

2. 場 所 中央生涯学習センター 205・206教室

### 3. 議事

- (1) 令和元年度「宇都宮市子ども・子育て会議」について
- (2) 幼児教育無償化の概要について
- (3) 幼児教育無償化に伴う公立保育園の副食費について
- (4) 宇都宮市病児保育事業実施事業者の選定について

### 4. その他

5. 出席者（委員：21名，事務局：25名，計：46名）

【委 員】青木章彦会長，釧持幸子副会長，青木克介委員，栗田幹晴委員，  
福田清美委員，君島健一委員，佐々木佳子委員，岩本眞砂枝委員，  
山崎英明委員，今井恭男委員，澤畑正委員，田代哲郎委員，  
菊池芳弘委員，倉益章委員，坂本登委員，中野謙作委員，河田隆委員，  
篠崎圭一委員，浅木一希委員，野城一宏委員，芥川一男委員

【事 務 局】〔子ども部〕埴部長，梓澤次長

〔子ども未来課〕坂井課長，亀澤課長補佐，綱川所長，川嶋係長，  
片岡係長，高木総括，菊地総括，大塚主事

〔子ども家庭課〕田邊課長，谷黒室長

〔保育課〕吉澤課長，大久保課長補佐，中里副主幹，横山係長，大嶋係長，  
坂入係長，熊谷総括，伊藤総括，佐藤総括，片山主任栄養士，  
三木主任主事

〔子ども発達センター〕鈴木所長

〔生涯学習課〕増淵課長

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴者数 0名

発言者	内 容
事務局	<p>1 開会 会議の公開について決定</p> <p>2 議事 (1) 令和元年度「宇都宮市子ども・子育て会議」について (事務局説明)</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p> <p>(質問・意見等なし)</p>
事務局	<p>(2) 幼児教育無償化の概要について (事務局説明)</p>
会長	<p>質問・意見等はあるか。</p>
委員	<p>幼児教育の無償化が開始されるにあたり、最大5年間は国の補助が出るとのことだが、市の財源確保はどのようになされるのか。子ども施策の中で再整理を行うなど新たな財源を捻出する必要があるのか。また、無償化により子育て世帯の負担は減るのか、子どもや子育てに関連する予算にしわ寄せが出るのか。</p>
事務局	<p>本市における保育料については、これまで、国の基準額よりも低い金額で設定をしていたが、これは市の負担で独自の助成を行っているものである。無償化に伴い、この独自の助成をしていた部分については国・県からの補助が出るため、より大きな助成をしている自治体ほど、無償化にあたって、むしろ自治体の負担が減るようなケースがあり、本市においては、国・県による補助に伴う市の負担軽減が大きいことから、市の負担が減ると見込んでいる。このようなことから、子育て関係事業について再整理をして財源を捻出する必要はなく、現在の保育料において市の負担が減った部分の中で、無償化について対応できると考えている。</p> <p>また、無償化が開始されることで、幼児教育の部分での保護者の負担は減ると見込んでいる。加えて、保育だけではなくて小学校も含めた市の施策については、財政的なしわ寄せで後退することはなく、市全体として、負担が軽減され浮いた分の財源について、子育て支援等の</p>

委員	<p>サービス向上に向けて利用できるよう検討している。</p> <p>幼児教育の無償化ということで、認可されている保育園や子ども園、その他の施設については、保護者の方が申込みリスト等見て一目で分かり、また、私たちも点数、件数等で把握できる状況であるが、今回、認可外保育施設も無償化の対象ということで、認可外保育施設の件数等の実態について市がどのように関与しているのか。</p>
事務局	<p>認可外保育施設については、現在、50施設あり、こちらの施設の概要については、市のホームページで記載している。市の関与については、法令等に基づき、年に1回、全施設に立ち入り調査を行っている。</p>
委員	<p>現在、認可外保育施設を利用している方々は、希望している認可施設に入れなかったためにその施設を利用しているのか。</p>
事務局	<p>認可外保育施設を利用されている方については、希望している認可保育施設にすぐに入れない場合に、入れるようになるまでの期間、代替施設として利用しているという方が一定数いる一方で、夜間の時間帯や日曜日の利用など、世帯ごとの様々な状況やニーズに応じて、認可外保育施設を選択し利用している家庭があると認識している。</p>
委員	<p>現在、年1回の立ち入り調査を行っているとのことだが、無償化に伴い、今後、立ち入り調査やその他、施設運営に関しての市の関与を強化していくことは検討しているのか。</p> <p>認可保育園では家庭の状況に対応しきれないために認可外保育施設を利用する家庭も多いと考える。ただ、利用する施設の安全性等については、十分に確保された、担保されたところに、預けたいと思うのが自然なので、今後、認可外保育施設についての指導監査については、今まで以上の対応をお願いしたい。</p>
事務局	<p>国においても、2年後を目途に認可外保育施設の取り扱いの見直しを検討することになっていることから、本市においては、そういった動きを注視しながら、巡回指導の中で指導監督の強化を図り、安全・安心な利用ができる環境を整えていきたい。</p>
委員	<p>宇都宮市はすでに第3子以降の保育の無償化を実施しているが、国の無償化の開始後に、現在実施している無償化の上限との兼ね合いはどうなるのか。</p>

	<p>また、資料に保育園等の一時預かりやファミリーサポートセンター事業を利用した際の合計額と上限額を比較と記載してあるが、要するに上限額までしか無料化の対象にならないということになる。その場合に、子どもを認可外保育所に預け、ファミサポを活用して送迎を依頼し、日曜日には一時預かりを利用すると、上限額を超えてしまう人が出てくることが考えられるのではないか。その人が無償化の対象になるとして補助の申請をしたときにお金がもらえないのでは、問題が起きるのではないか。書面上の上限額が絶対なのか、もしくは柔軟性をもたせるのか、その辺を検討して利用者に周知しておく必要があると考える。</p>
事務局	<p>本市における第3子の取り扱いについて、まず、認可保育所などにおいては、すでにすべての世帯の第3子以降の保育料は無料としており、無償化実施後も継続する。</p> <p>また、本市の独自事業として、一時預かり事業などにおいて、第3子以降の子どもの利用に対して、利用者からの申請による補助の交付を実施しているが、今後は、国の制度の中でこのような利用についても無償化の対象となる。このうち、上限額を超える部分については、さらに上乘せして保障するなど、少なくともこれまでの制度を継続していく形で実施していく予定である。</p> <p>これらの周知については、これまで利用されていた方も、今後利用を考えている方にも、皆様にわかりやすくお伝えできるよう方策を検討していく。</p>
委員	<p>幼児教育の無償化がなぜ実施されるのかについて、一般の人はあまり理解していないので広く周知をすべきである。</p> <p>また、無償化が開始されることで市の財政負担が軽減されるとのことだが、子どもたちの安全を守るという意味で、その浮いたお金を使って保育所や幼稚園の周辺の道路にフェンスを設置してほしい。</p>
委員	<p>幼稚園は、県からの私学助成と市からの施設型給付の2種類の助成を受けている。保育園と認定子ども園に関しては、今まで宇都宮市と事務的な手続きが日常的にあったが、私学助成の幼稚園に関しては、これまでは担当が県で、宇都宮市との関わりがほとんどなかった。今回、無償化にあたって、幼稚園は保育園、認定こども園と同様の事務を市で行わなければならない、その上、その事務手続きの仕方がこれまでの県とのやり方と異なっているため、施設側は戸惑っており、施設に対するしっかりとしたフォローが必要だと考える。</p>

	<p>また、無償化が実施されることで、今後、保育園も認定こども園もそして、幼稚園も預かり保育の部分に対しての補助金も受けられることになるので、子どもを預ける家庭がさらに増えることは簡単に想像ができる。ただ、施設に預けたいという家庭が増えてくるにも関わらず、就学前の子どもを預かっているどの施設においても人材が足りないのが現状である。あらゆる手を使って、人材確保に努めているものの、人材がいなかったために子どもを受け入れられない状況が継続しているのが現実である。無償化は保護者にとっては、とても有難い制度だと思うが、受け入れる側の体制整備についても、何年か先を見据えた形で、何らかの補助や新たな施策を考えていただきたい。</p>
会長	<p>他に、意見・質問等はないか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
事務局	<p>(3) 幼児教育無償化に伴う公立保育園の副食費について (事務局説明)</p>
委員	<p>資料中の「在宅障害児がいる世帯の一部の子」とは具体的にどのような子どものことを言っているのか。</p>
事務局	<p>国から通知された情報に基づき記載しているが、その詳細については現在確認中であることから、国からの通知が届き次第お示しさせていただきます。</p>
委員	<p>現在、幼稚園では園によって保育料の中に副食費の部分を含めている園もあれば、給食費という名目で徴収している園もある。どの園も今回の無償化にあたって、その部分の金額を見直しする必要があると考えているが、給食費の設定金額については、宇都宮市の公立の保育所の設定金額やメニュー等の内容をどのように考えているのか、消費税増税や食糧費の高騰をどのように反映させていくのかを気にしている園が多くある。今の説明は副食費だけで、公立保育所の主食費は実費負担と書かれているが、無償化によって見直しを行うのか、それとも、食材が上がっているから今までよりも高い値段にするのか、現行のまま据え置きなのか、ということを示してもらえると、私立の幼稚園も参考にして考えられるのではないか。</p>
事務局	<p>主食費については、現在月額1000円として実費徴収をしている。</p>

委員	<p>その内訳としては、ご飯やパン、麺類などを提供している。今回の無償化に伴い、副食費が実費徴収になることから、今回説明の中では主食費については触れなかったが、基本的には主食費は現行通り1000円を実費徴収とする方向で検討している。</p> <p>保育園を運営しているが、実際に私たちの保育園の場合だと主食費は1000円ではまかなえず1500円徴収している。これは食材費の高騰などの影響を受けており、特に小麦の価格が年々高騰していることから麺類やパン類をバランスよく組み入れると1000円では難しいのが現状である。公立保育所の1000円が、いつの時点で決められたのか、現状にはたして合っているのか、という検討をした上での据え置きなのか。市が価格を決めた当時の食材の価格と今とではだいぶ差があるものと考えている。</p>
事務局	<p>本市では、平成19年から西部保育園を完全給食園としており、主食費月額1000円を実費徴収し、米やパン、麺類を提供している。その時に主食費を試算して以降、これまで主食費の見直し等は行っておらず、パンや麺、ご飯といった主食を1000円の範囲内で対応できているのが現状である。具体的な話になるが、今給食は月に24日提供している中で、パンは食育や子どもの栄養面を考慮して、週に1回程度としている。麺類については、月に2回程度としており、なるべく米を中心とした給食を提供していくという考えのもと実施している。本市の公立保育園では、現在、JAうつのみやから米を納入をしており、すべての施設が10kgで3680円で購入している。また、パンについては、やはり米の単価に比べて1回あたり20円ほど高くなり、麺についても同様に少し単価は上がるものの、結果として1000円で実施ができています。</p>
委員	<p>幼児教育の無償化について、保護者の方々にとっては経済的に効果的な子育て支援になると思うが、無償化の動きの中で話題になる給食費については、施設を非常に悩ませている。これまでの保育料は、応能負担となっており、家庭によって副食費等の金額が異なっていたが、無償化実施後の給食費については一律負担となるため、今までの保育料が高かった家庭の負担割合は小さく、保育料が低かった家庭の負担割合が大きくなることから、無償化で保育料が0になって負担が減ると喜んでいた保護者が給食費を徴収することを伝えるととても驚いて反発がある。それを理解してもらうために、国でも周知の文書出しているが、宇都宮市においても、無償化の実施後には給食費を徴収す</p>

	<p>ることを保護者が納得できる・理解の得られる効果的な広報をぜひお願いしたい。</p>
会長	<p>他に質問・意見等はあるか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
事務局	<p>(4) 宇都宮市病児保育事業実施事業者の選定について (事務局説明)</p>
委員	<p>病児保育の利用定員が3名とあるが、どのように募集するのか。</p>
事務局	<p>利用意向がある場合には、事前に保護者が直接、事業者を利用の申し込みをする。</p>
委員	<p>利用定員の3人は当日に収容できる人数が3人であり、登録者数に制限はないという理解でよいか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
会長	<p>他に質問・意見等はあるか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
委員	<p><b>3 その他</b></p> <p>子どもの安心・安全が何より大切であり、地域の皆で見守ることで子どもたちを守れるということを再認識すべきである。</p> <p>市民活動の補助金申請の事業団体が出たと思うが、その中に子ども子育て関係での事業所の申請はあったのか。</p>
事務局	<p>事務局として情報は入っていない。</p>
委員	<p>スクールゾーンについて、宇都宮市では、法律上学校にあたる幼稚園の周辺で設定している園があるのか。</p>
事務局	<p>本市では、小学校の周辺500メートル圏内をスクールゾーンに位置付けて、表示をしたが、その設定にあたっては労働管理者や警察等と協議した上で設定した経緯がある。地域を管轄する警察署によってスク</p>

委員	<p>ールゾーンの考え方が異なり，ある地域では「ゾーン30」と言ってスクールゾーンの範囲内は車のスピードを30キロに抑えるための表示をしている。現状は，学校周辺に市独自でスクールゾーンを設定しており，幼稚園周辺には設定していない。</p> <p>スクールゾーンという形が難しいのであればその他の何かしらの方法で保育園や幼稚園があることが認知できる工夫や車がスピードを落とすような工夫を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>国の方でもそういった検討が始まるという話も聞いている。国等の動向を注視しながら，少しでも検討していきたい。</p>
会長	<p>他に質問・意見等はないか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
事務局	<p>第2回子ども・子育て会議について，日時等の詳細は，後日，改めて通知する。</p> <p><b>4 閉会</b></p>
事務局	<p>以上で，第1回宇都宮市子ども・子育て会議を閉会する。</p>